

再評価審議資料【道路事業（県事業）】（道路建設課）

○再評価対象箇所一覧表	・・・p1
○再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について	・・・p3
○再評価実施箇所（附図）	・・・p5～6
○説明資料（パワーポイント）	
・道路改築工事の整備方針	・・・p7～8
2 道路改築事業	
「(一) 大垣江南線 長良川新橋工区」	・・・p9～16
3 道路改築事業	
「(国) 360号 種蔵・打保バイパス工区」	・・・p17～24



令和3年度 再評価対象箇所一覧表 8月27日審議箇所

【県土整備部 道路建設課】

番号	事業名	路線・地区 ・河川名等	実施箇所 (市町村名)	採択 年度	完了 予定 年度	事業概要		全体事業費 (百万円) 用地補償費 工事費等	実施済み額 (百万円) 用地補償費 工事費等	進捗率 (%) (R4.3現在) 用地補償費 工事費等	経過年数	政策との 位置付け	関連事業の 進捗状況	社会経済情勢等の 変化及び 地元の意向	環境との調和へ の配慮事項	事業費削減	費用対効果 分析	対応方針 (案)	特記事項
						全体事業量 (km)	実施済み事業 量 (km)												
2	道路改善事業	(一)大垣江藤線 長良川新橋	安八郡安八町 ～ 羽島市	H29	R9	2.20	0	15,000 1,100 13,900	910 300 610	6.1% 27.3% 4.4%	5	・災害緩和による円 滑な交通の確保 ・産業振興の推進 ・災害時に有効に機 能するネットワークの 確保	-	・岐阜羽島IC周辺 の土地活用・整理事 業の進展および大 型商業施設の進出 ・事業継続、早期 完成を要望	事業沿線の動植物への配慮	-	1.4 (-)	継続	
3	道路改善事業	(国)360号 種蔵・打保バイパス	飛騨市	H9	R13	7.55	3.219	18,500 370 18,130	15,010 270 14,740	81.1% 73.0% 81.3%	25	・観光交流や産業振 興の推進 ・雨量規制区間の降 消 ・災害時に有効に機 能するネットワークの 確保 ・県土1,700km規格 幹線ネットワーク構想 の推進	-	・東海北陸自動車 道の4車線化および 中部縦貫自動車 道や国道41号の 整備 ・事業継続、早期 完成を要望	事業沿線の動植物への配慮	-	1.1 (1.1)	継続	前回 再評価 H28

費用対効果分析：( )は前回再評価時の投資効果率



令和3年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 道路建設課

○事業制度について	事業名	道路改築事業	
	事業目的	地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取組を支援することにより、交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図ること。	
	採択基準	地域住民の日常生活の安全性若しくは利便性の向上を図るために必要であり、又は快適な生活環境の確保若しくは地域の活力の創造に資すると認められるもの。	
	概要 (メニュー)	現道の拡幅や線形改良またはバイパス等の建設	
○費用対効果の分析について *費用便益 B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≪B≫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行時間短縮便益</li> <li>・走行経費減少便益</li> <li>・交通事故減少便益</li> </ul>
		その他項目	
	費用 ≪C≫ の算定	費用の積み上げ基準＝道路整備に要する事業費＋道路維持管理に要する事業費 現在価値算出のための社会的割引率：4％ 基準年次：評価時点 検討年数：50年間	
費用便益比の基準	原則費用便益比（B/C）1.0以上		



# 令和3年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔道路建設課〕

番号	2	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業 一般県道 大垣江南線 長良川新橋工区
事業実施箇所	安八郡安八町南今ヶ淵 ～羽島市小籠町		事業主体 岐阜県
採択年度	平成29年度	完了予定年度	令和9年度
再評価の実施基準	事業着手年度から5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>一般県道大垣江南線は、岐阜県大垣市を起点とし愛知県江南市に至る路線である。当該事業はこのうち長良川渡河部の約2.2km区間を整備するものであり、渋滞緩和による円滑な交通の確保、産業振興の推進、災害時に有効に機能するネットワークの確保を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長 : 2.2 km 車道幅員 : 3.25 m × 2 車線 自転車歩行者道幅員 : 3.5 m (土工部両側、橋梁部片側)</p> <p>主要構造物 : (仮)長良川新橋 L = 1.1 km</p>		
概要図			

# 令和3年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔道路建設課〕

番号	3	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業 一般国道360号 種蔵・打保バイパス
事業実施箇所	飛騨市宮川町祢宜ヶ沢上 ～飛騨市宮川町巢之内		事業主体 岐阜県
採択年度	平成9年度	完了予定年度	令和13年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>一般国道360号は、富山県富山市を起点とし、石川県小松市へ至る延長約91km（県内延長57km）である。</p> <p>当該事業は、このうち飛騨市宮川町祢宜ヶ沢上～飛騨市宮川町巢之内の7.55km区間をバイパス整備するものであり、観光交流や産業振興の推進、雨量規制区間の解消、災害時に有効に機能するネットワークの確保、県土1,700km骨格幹線ネットワーク構想の推進を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長：7.55km 車道幅員：3.25m×2車線</p> <p>主要構造物：(仮)宮川1号トンネルL=1.7km、(仮)宮川2号トンネルL=0.9km (仮)2号橋梁 L=0.1km</p>		
概要図	<p>概要図は、飛騨市から高山市までのルートを示しています。赤い線は未供用区間（種蔵・打保バイパス）を示し、黒い線は供用済区間の一般国道360号を示しています。雨量規制区間（H30.3.1解除）はL=6,200mと示されています。主要構造物として、(仮)宮川1号トンネル、(仮)宮川2号トンネル、(仮)2号橋梁、成手トンネル、大瀬橋、大瀬トンネル、蛇淵橋、文童子トンネル、ヤソゼ橋、(仮)6号橋梁が示されています。また、未供用区間の長さ（L=3,974m）と供用済区間の長さ（L=2,677m、L=542m）も示されています。</p>		
写真①: 起点部付近の状況			
写真②: 現道の状況			
写真③: 終点部付近の状況			



# 令和3年度 公共事業再評価について (道路改築事業)

令和3年8月27日

岐阜県 県土整備部 道路建設課



## 道路改築事業の整備方針

### 考え方

岐阜県では、平成18年度に策定した「県土整備ビジョン」を踏まえつつ、「**活力**」、「**安心・安全**」を重点目標とし、道路整備に取り組んでいます。

### 重点目標

#### 活力

#### ●物流・観光、地域経済の持続的発展の基礎となる道路整備

- ・ 県土1700km骨格幹線ネットワーク構想の推進
- ・ 渋滞緩和による円滑な交通の確保
- ・ 観光交流や産業振興の推進
- ・ 高速道路へのアクセス向上

#### 安全・安心

#### ●災害に強い県土づくりの根幹となる道路整備

#### ●地域の生活を支え、人に優しい安全で快適なまちづくりを支える道路整備

- ・ 災害時に有効に機能するネットワークの確保
- ・ 雨量規制区間の解消
- ・ 隘路・線形不良箇所の解消による円滑な交通の確保

# 道路改築事業の整備方針

## 重点施策(令和3年度)

### 地域にあふれる魅力と活力づくり

#### ◇物流・観光を支える道路ネットワークの構築

- 東海環状自動車道西回り区間及びICアクセス道路の整備促進
- 東海北陸自動車道等の4車線化と中部縦貫自動車道の整備促進
- 濃飛横断自動車道の整備推進
- 地域と地域をつなぐ幹線道路等の整備

※道路建設課が所管する事業に関するものを抜粋

### 健やかで安らかな地域づくり

#### ◇強靱な県土整備

- 水害や土砂災害から命と暮らしを守る基盤整備の推進
- 早期復旧を可能とする対策の推進

#### ◇生活を支えるインフラの整備

- 道路・河川・砂防施設の計画的な維持管理の推進
- 安全・安心な通学路等の整備の推進

※道路建設課が所管する事業に関するものを抜粋

# 事業再評価 道路改築事業

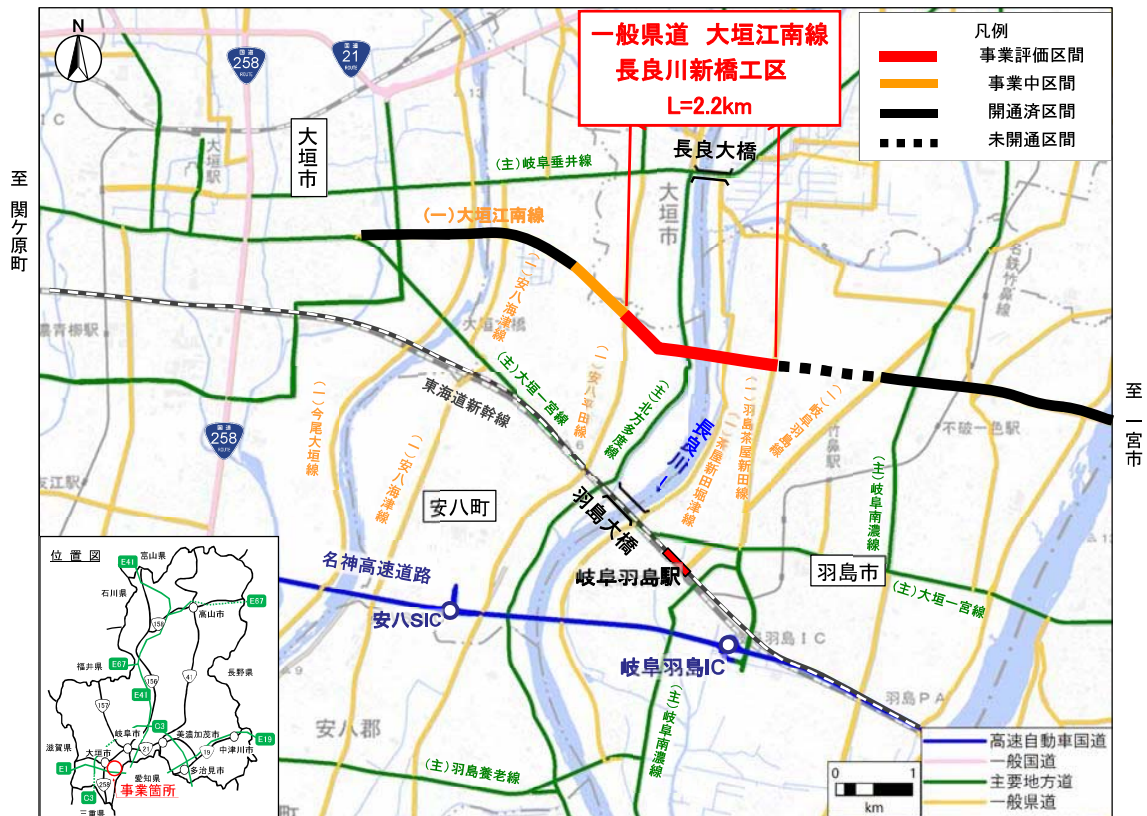
## 一般県道 大垣江南線 おおがき こうなん

### ながらがわしんきょう 長良川新橋工区

岐阜県 県土整備部 道路建設課  
令和3年8月27日



## 位置図



## 位置図 2



2

## 事業概要

◆起 終 点： あんぱち あんぱち みなみいまがらち はしま おぐまちょう 安八郡安八町南今ヶ淵～羽島市小熊町

◆全体延長： 2. 2 km

◆総事業費： 約 1 5 0 億円

◆事業着手： 平成 2 9 年度

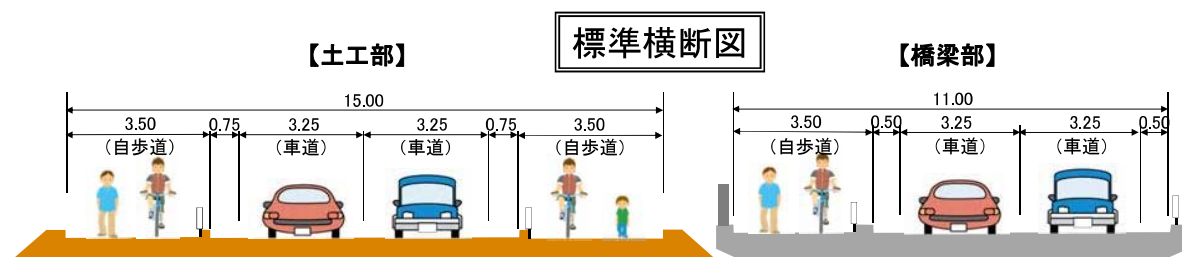
◆完 成： 令和 9 年度

◆道路規格： 第 3 種 第 2 級

◆幅 員： 車道 3. 2 5 m × 2 車線

： 自転車歩行者道 土工部 3. 5 0 m (両側)

橋梁部 3. 5 0 m (片側)



3



# 事業の目的①

## 活力：渋滞緩和による円滑な交通の確保

- 長良川渡河部に主要渋滞箇所が点在し、周辺道路は慢性的な交通渋滞が発生
- 当該工区の整備により、事業中区間と一体となって周辺の長良川渡河部における道路混雑を緩和し、交通の円滑化を図る。

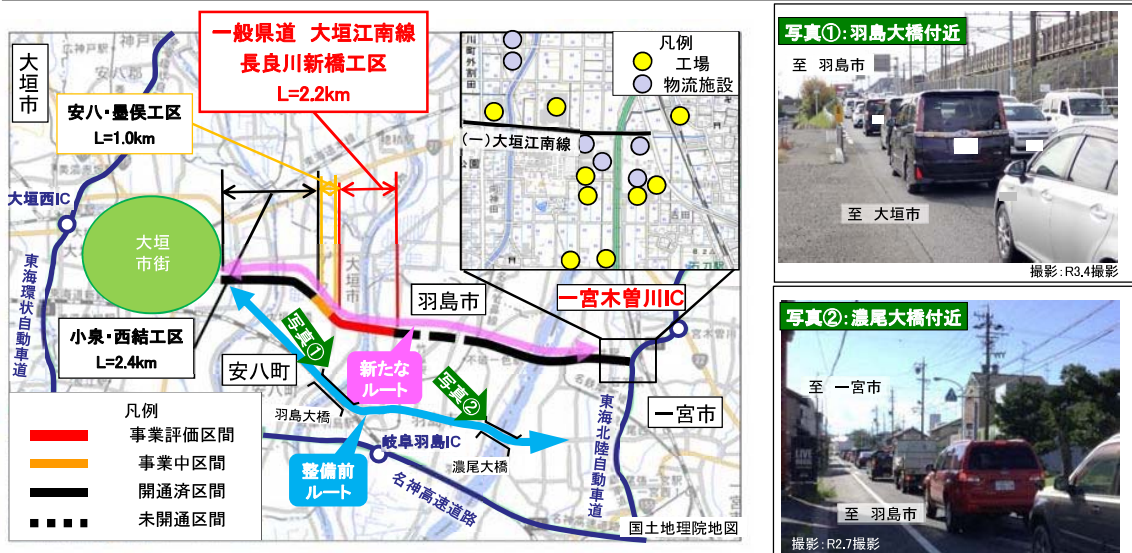


4

# 事業の目的②

## 活力：物流の効率化、産業振興の推進

- 一宮木曾川IC周辺では、工場や物流施設の立地が進んでいる。
- 大垣江南線の並行路線である大垣一宮線は慢性的な混雑渋滞が発生している。
- 大垣江南線が全線開通することにより、岐阜県と愛知県を結ぶ新たなルートを確認し、愛知県との物流の強化が図られ、物流の効率化や産業振興が図られることが期待される。

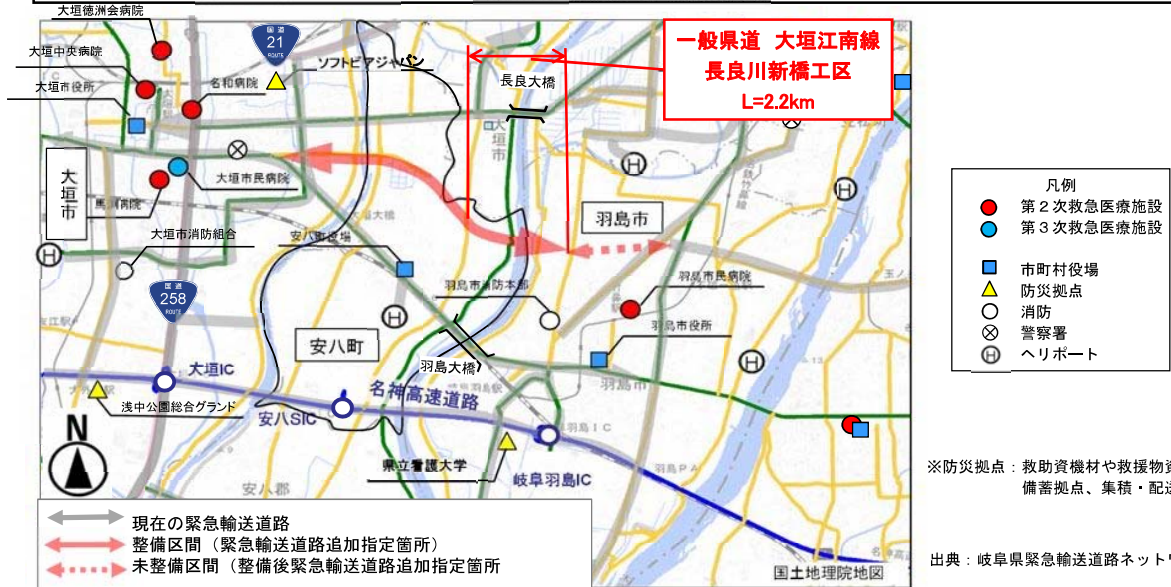


5

# 事業の目的③

## 安全・安心：災害時に有効に機能するネットワーク確保

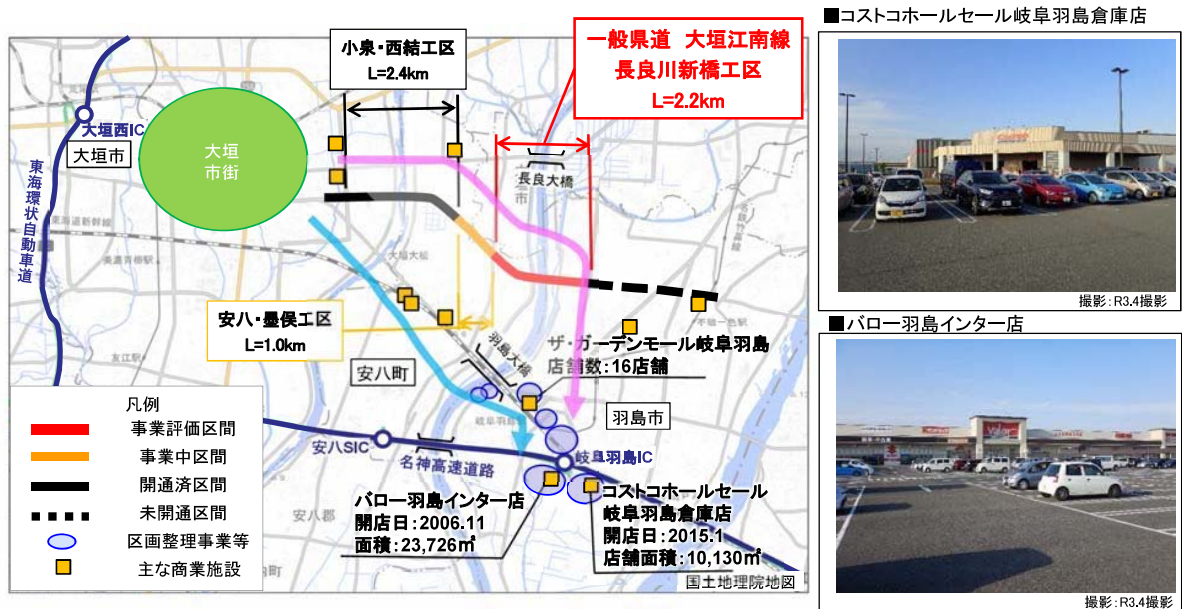
- 事業区間は将来第2次緊急輸送道路追加指定箇所である。
- 周辺の羽島市、安八町は河川に取り囲まれた輪中地帯のため、洪水をはじめとした大規模災害発生時に孤立化する恐れが想定される。
- 長良川新橋を中心とした東西方向の災害時救援活動、物資輸送活動を支援。



# 事業を巡る社会経済情勢等の変化

## ◆岐阜羽島駅周辺開発の進展

- 岐阜羽島IC周辺では、土地区画整理事業が進み、大規模商業施設が進出。
- 当該区間の整備により、岐阜羽島IC周辺へのアクセスが向上し、物流強化や商業施設利用者の増加が促進。





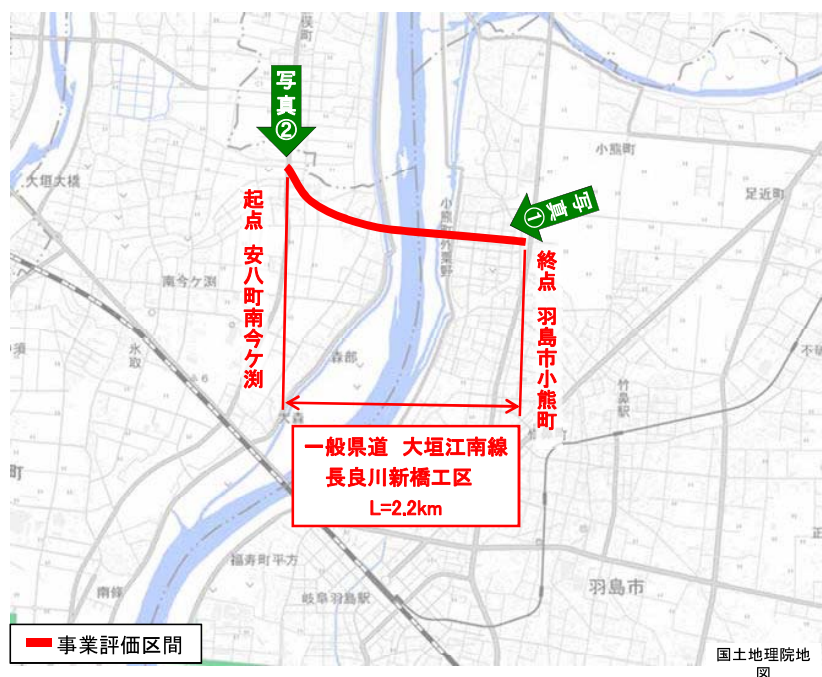
## 事業の進捗状況

全体進捗率 6%

用地補償進捗率27%

工事進捗率0%

※ 令和3年度末事業費ベース



8

## コスト縮減の取り組み

- 発生土の流用等によるコスト縮減は計画段階から取入れた上で、最適な計画で工事を実施していく。
- 今後も技術革新による新工法、新材料等の情報を積極的に収集し、コスト縮減にむけ継続的に検討していく。

9

## 自然環境への配慮

### ◆生息状況の調査を実施

- 長良川新橋工区では令和元年度における調査によりナゴヤダルマガエル（環境省レッドリスト2020絶滅危惧IB類）、カワバタモロコ（環境省レッドリスト2020絶滅危惧IB類）の生息が確認された。
- このため、主要な生息箇所に対する保全対策を検討し、環境配慮事項及び保全対策の実施に際し、工事着工前調査を行い、事業計画に合わせた適切な環境配慮と保全対策を行ったうえで事業を進めていく。



生息状況の調査の様子



ナゴヤダルマガエル



カワバタモロコ

10

## 費用対効果分析

### 事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 92%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 7%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 1%

### 投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.4$$

※費用便益分析マニュアル(H30.2 国土交通省)に基づき算出

11



## 今後の方針(案)

○長良川新橋工区の完成は、円滑な交通の支援、産業振興の推進に大きく寄与する。

○地元住民および関係市町から事業の継続、早期完成の強い要望がある。



**= 供用に向け、事業継続 =**

**令和3年度第3回  
岐阜県事業評価監視委員会  
費用対効果分析資料**

■事業名

【道路改築事業】「一般県道 大垣江南線 長良川新橋工区」

■事業内容

延長L=2.2km、幅員3.25×2車線

■費用対効果分析結果

区分		前回	今回	備考
		(基準年：-)	(基準年：R3)	
事業期間		-	H29～R9	
費用 (億円)	事業費	-	121.4	
	維持管理費	-	3.9	
	合計 (C)	-	125.4	
効果 (億円)	走行時間短縮便益	-	167.7	
	走行経費減少便益	-	12.7	
	交通事故減少便益	-	1.1	
	合計 (B)	-	181.5	
費用対効果分析結果 (B/C)		-	1.4	

※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したものの。

■費用対効果分析の分析方法

・費用便益分析マニュアル／国土交通省 道路局 都市局/H30.2

■費用対効果分析結果の要因変化

・今回再評価を初めて実施。



## 位置図 2

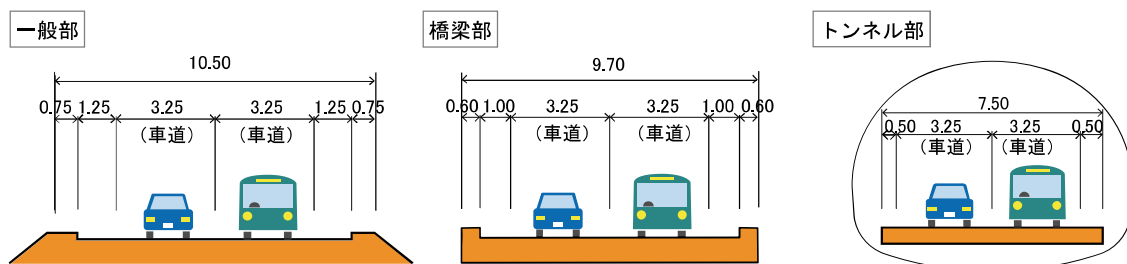


2

## 事業概要

- ひだしみやがわちょうね が それ ひだしみやがわちょうすのうち
- ◆起 終 点：飛騨市宮川町祢宜ヶ沢上～飛騨市宮川町巢之内
  - ◆全体延長：7, 550m
  - ◆総事業費：約185億円
  - ◆事業着手：平成 9年度
  - ◆完 成：令和13年度
  - ◆道路規格：第3種第3級
  - ◆幅 員：車道 3.25m×2車線

### 標準横断図



3



# 事業の目的①

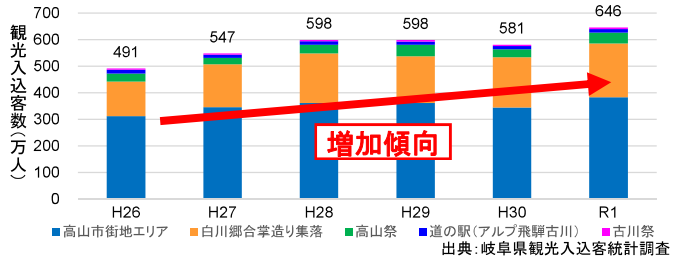
活力：観光交流や産業振興の推進

安全・安心：災害時に有効に機能するネットワーク確保

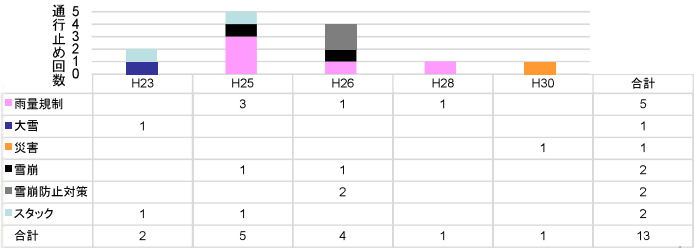
- 従来より結びつきの強い富山～飛騨地域が種蔵・打保バイパスの整備により、アクセスが向上。
- 東海北陸自動車道や北陸自動車道、北陸新幹線、国道41号などとの連携により、**国内外の観光客のさらなる増加が期待**
- 国道41号と連携した富山～飛騨地域の観光ルート（昇竜道ドラゴンコース）におけるダブルネットワークが強化され、**地域の産業振興が期待**
- 第1次緊急輸送道路である国道41号の雨量規制区間を回避する迂回路としても機能することにより、富山県と飛騨地域が安定的に結ばれ、**災害時のネットワーク強化が期待**



■主な周辺観光地における観光入込客数の推移



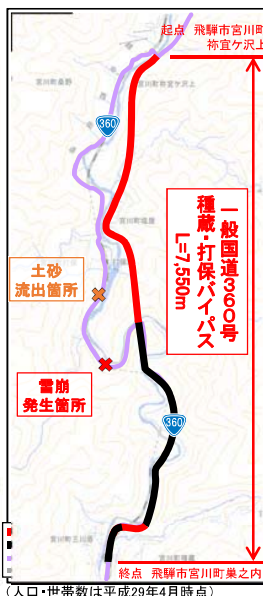
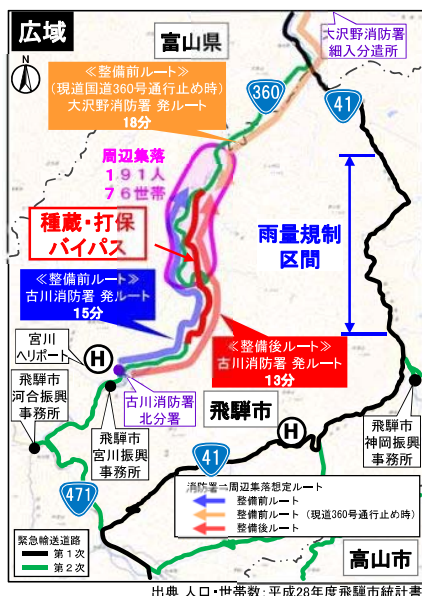
■国道360号との並行区間における国道41号の通行止め実績(H23～R2)



# 事業の目的②

安全・安心：災害時に有効に機能するネットワーク確保

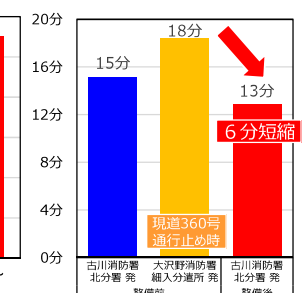
- 当該区間は第2次緊急輸送道路に指定
- 国道360号では、異常気象等による通行止めが直近5年間で11回発生
- 種蔵・打保バイパスの整備により、緊急輸送時間が6分短縮
- 災害発生時の緊急輸送路を確保し、緊急輸送道路の機能を強化**



■異常気象等による国道360号の通行止め発生回数



■消防署→周辺集落(宮川町)の所要時間

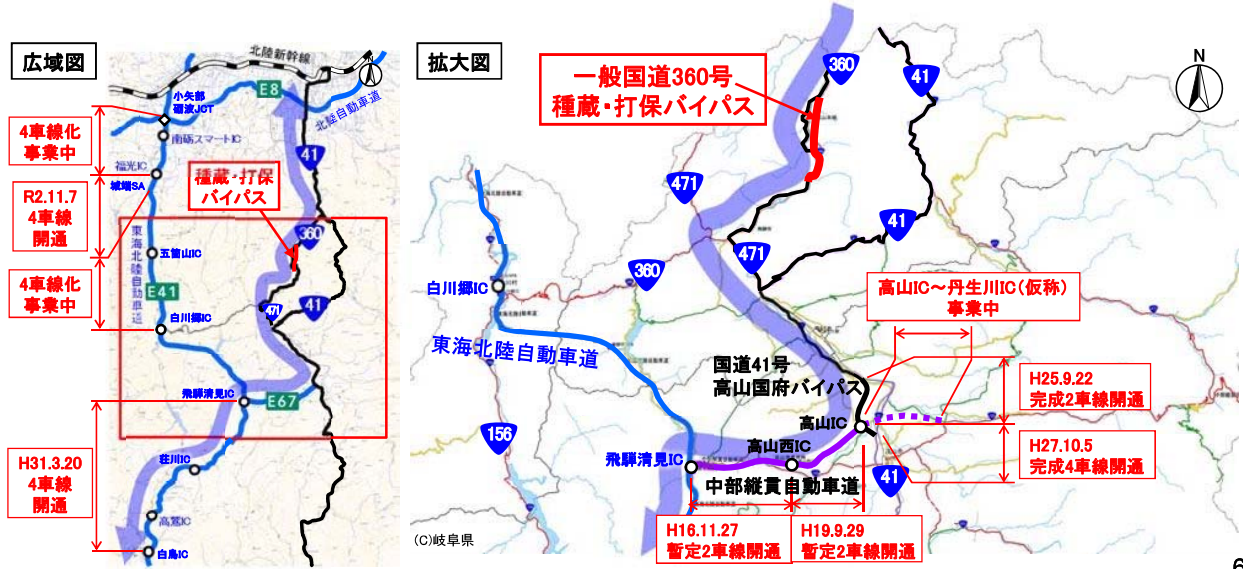


出典 人口・世帯数：平成28年度飛騨市統計書 (人口・世帯数は平成29年4月時点)

# 事業を巡る社会経済情勢等の変化

## ◆道路ネットワークの整備

- 平成16年度及び平成19年度の中部縦貫自動車道 飛騨清見IC～高山ICの開通に加え、平成27年10月に国道41号高山国府バイパスが開通
- 道路網では東海北陸自動車道の4車線化、中部縦貫自動車道の整備、鉄道網では北陸新幹線などとの連携により、国内外の観光客のさらなる増加が期待



6

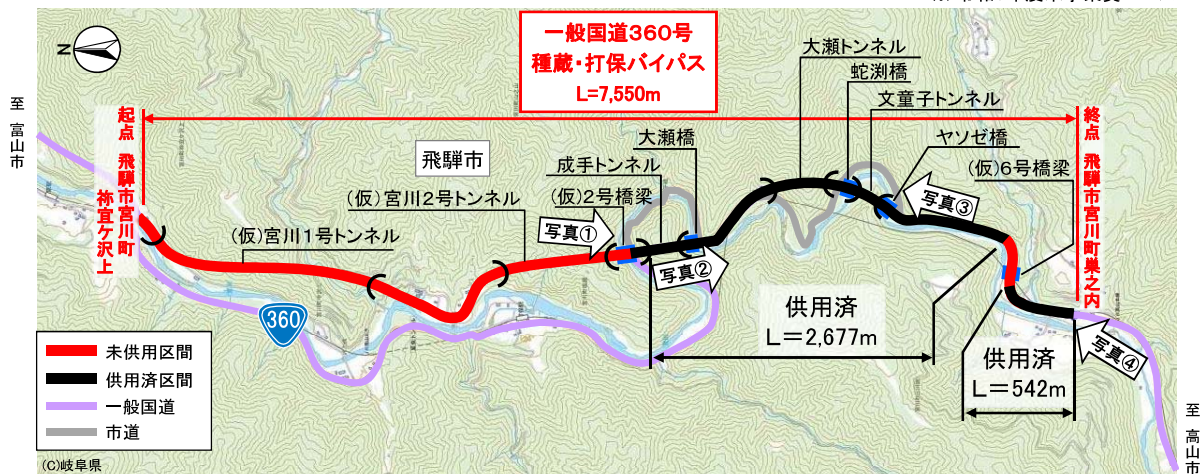
## 事業の進捗状況

全体進捗率 81%\*

用地補償進捗率 73%\*

工事進捗率81%\*

※ 令和3年度末事業費ベース



7



## 事業の施工状況((仮称)宮川2号トンネル)

(仮称) 宮川2号トンネル貫通式の状況 (R2.1)



(仮称) 宮川2号トンネル貫通後の状況 (R2.7)



- 令和2年1月に宮川2号トンネルの掘削が完了し、貫通式を実施
- 現在、トンネル内の舗装工および設備工の工事を推進

8

## コスト縮減の取り組み

- 発生土の流用等によるコスト縮減は計画段階から取入れた上で、最適な計画で工事を実施していく。
- 今後も技術革新による新工法、新材料等の情報を積極的に収集し、コスト縮減にむけ継続的に検討していく。

9

## 自然環境への配慮

### ◆希少猛禽類に配慮した工事を実施

- 当地域には希少猛禽類「クマタカ」が生息
- 学識経験者のアドバイスを受けてモニタリングを実施するなど、希少猛禽類に配慮しつつ工事を実施

打保 雌成鳥  
(撮影:令和3年2月)



#### クマタカ

##### ◇分布

北海道、本州、四国、九州に分布するが西日本では減少しているという。国外では東アジア、台湾に分布する。県内では、飛騨市、高山市、郡上市、下呂市、揖斐川町、本巣市、八百津町などの山地帯で広く繁殖が確認されている。

##### ◇貴重性

環境省絶滅危惧ⅠＢ類  
岐阜県絶滅危惧Ⅱ類

戸谷集落周辺 令和元年生まれの若鳥  
(撮影:令和3年3月)

10

## 費用対効果分析

### 事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約84%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約15%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約1%

### 投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.1 \quad \left[ \begin{array}{l} \text{前回再評価時} \\ \text{(H28年度)} \\ 1.1 \end{array} \right]$$

※費用便益分析マニュアル(国土交通省H30.2)に基づき算出

11



## 今後の方針(案)

- 一般国道360号種蔵・打保バイパスは、観光交流や産業振興を推進し、災害時に有効に機能するネットワークを確保及び、隘路・線形不良箇所解消による円滑な交通の確保に大きく寄与する。
- 地元住民及び関係市町から事業の継続、早期完成の強い要望がある。



**＝事業継続＝**

**令和3年度第3回  
岐阜県事業評価監視委員会  
費用対効果分析資料**

■事業名

道路改築事業 一般国道360号 種蔵・打保バイパス

■事業内容

延長L=7.55km、幅員3.25×2車線

■費用対効果分析結果

区分		前回	今回	備考
		(基準年：H28)	(基準年：R3)	
事業期間		H9～R8	H9～R13	
費用 (億円)	事業費	209.4	258.8	
	維持管理費	4.7	4.5	
	合計 (C)	214.1	263.3	
	効果 (億円)			
	走行時間短縮便益	190.9	233.5	
	走行経費減少便益	42.4	41.2	
	交通事故減少便益	5.6	2.4	
	合計 (B)	238.9	277.1	
費用対効果分析結果 (B/C)		1.1	1.1	

※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したものの。

■費用対効果分析の分析方法

・費用便益分析マニュアル／国土交通省 道路局 都市局/H30.2

■費用対効果分析結果の要因変化

【費用】

- ・費用を現在価値化する際の基準年を平成28年から令和3年に変更したことによる影響
- ・事業期間が延長されたことによる影響

【C=+49.4億円】

【便益】

- ・将来OD表の変更による、計画交通量の増加に伴う影響
- ・費用便益分析マニュアルの改訂（H30年2月）による、時間価値原単位、走行経費原単位、交通事故損失額算定式の変更に伴う影響
- ・便益を現在価値化する際の基準年を平成28年から令和3年に変更したことによる影響
- ・事業期間が延長されたことによる影響（完成年度：R8→R13）

【B=+38.2億円】